

城陽市議会議員

あいほら佳代子 NEWS

http://www.k-aihara.com/ あいほら佳代子 |

検索

2012.02

発行人:相原佳代子
城陽市富野南垣内1-50
Tel・Fax 0774-55-1365
E-mail taiyo@m5.kcn.ne.jp
ツイッター twitter.com/k_aihara/



こんにちは。この冬の寒さはことのほか厳しく、中でも震災地や寒冷地でお暮らしの方々には積雪による被害が生活のあらゆる場面に逼迫させているのが現状です。

インフルエンザがこの季節、ここ城陽においても猛威を振るう中、園児や小・中学生とのあいさつから始まる一日。寒い朝、班長が元気に挨拶してくれると、後に続く下級生も大きな声で「おはようございます!」子ども達や見守り隊の皆さん、先生方から元気をもらっています。いよいよ来月は卒園・卒業式、そして春はもうすぐそこに…冬の寒さに耐え、力を蓄えた分、暖かい春の訪れが待ち遠しいです。

しかしながら、毎日お受けする生活相談では、道路改修や買い物、

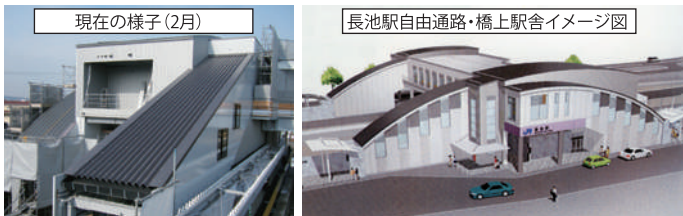
通院など交通の便利さを望まれるものから体調不良や経済的な生活不安、老老介護、虐待・DV・ストーカー被害、障がいのあるお子さんやご自身の心の悩みなど多岐にわたり、あまりの多さと複雑さに心が痛みます。

地域の宝である子ども達や保護者のみなさん、そして城陽でお暮らしの方々が、何を必要とされているのかを、市民の代弁者である我々は知恵を出し合い、手立てを講じていかねばなりません。まだまだ未熟ではありますが、現場に出向き、お声をお聞きすることを大切にしてこれからも精一杯努めさせていただきます。ご指導賜りますようよろしくお願い致します。

JR長池駅周辺整備事業

● JR長池駅(自由通路・橋上駅舎)

いよいよ今年6月に完成・利用開始!



● 木津川右岸運動公園(長池駅から東へ徒歩5分)

平成24年度より一部利用開始!
富野小児童たちが苗木を育てました!

● 木津川右岸運動公園線・東城陽線

(舗装工事及び植栽)
平成24年度末完成予定【地図①・②】

● アル・プラザ 城陽

今年4月末リニューアルオープンに向け、市道343号線道路拡幅工事【地図③】



富野小学校・富野幼稚園周辺

● 富野小学校体育館大規模改修工事、正門前拡幅工事、富野幼稚園駐車場整備が完了し、3学期から利用開始



幅が狭く危なかった富野小学校正門前の歩道が拡幅されました。(平成23年12月)



新しくなった体育館と幼稚園駐車場 小学校前市道アスファルト改修工事(手前のアスファルト部分/10台分) (2月着工予定)【地図④】

● JR踏切(裏池)～城南病院前アスファルト改修工事(年度内着工予定)【地図⑤】

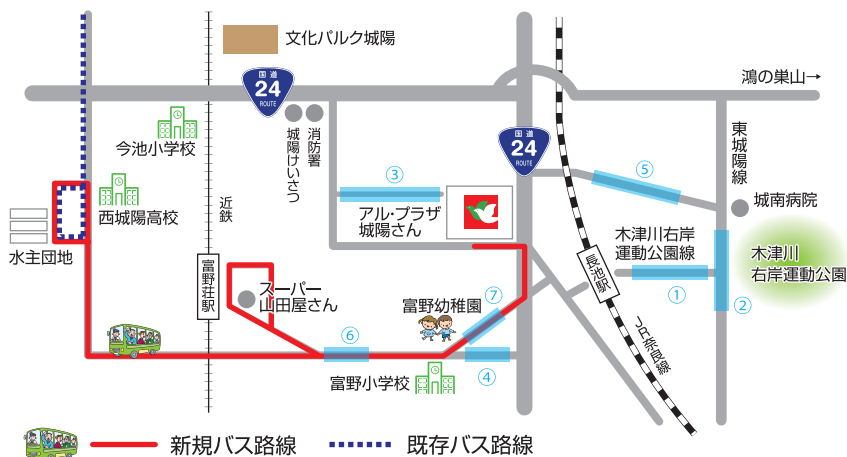


現状

新規バス路線運行ルート(案)

● 寺田方面～水主～富野荘駅～長池方面が提示されました。(平成23年12月)

今後、関係機関との協議、地元説明を通してご理解を求めて参ります。(バス停位置の選択など)



府道改修工事

(府民公募事業に採用されました)

● リズ(パーマ屋)様前～JA前府道、富野幼稚園前府道改修工事

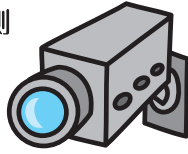
(老朽化の進んだ舗装の改修)
今年度実施決定



リズ様前～JA前府道の現状【地図⑥】 富野幼稚園前府道の現状【地図⑦】

機械警備(防犯カメラ)設置へ

防犯対策強化のため、近鉄富野荘駅西側広場付近、JR城陽駅東側広場に防犯カメラ設置に向けた前向きな取り組み。(平成24年度)



ふたば園(心身障がい児通園施設)の新設

利用人数(平成22年度104名)に対する狭さと老朽化が問題でした。情緒の安定と発達の援助(療育)を充実させます。(平成24年4月オープン予定)



現在新設工事中のふたば園

産科医療の充実を

現在市内に分娩施設がありません。助成金(1200万円×5年)を出し、産科医院開設に前進。(がん検診率向上と子宮頸がんワクチン接種との相乗効果)

災害時に備えて

ストーム用装具(人工肛門保有者が使用される)備蓄に向けて、市は関係機関と連携した取り組みを行うとの考え。

職員給与カットへ

平成24年度から管理職に加え、一般職員の給与も3~5%カット。約1億500万円の削減効果。



議会で質問

見守り活動

グランドゴルフ大会

先日、新聞投稿欄の「今ある限り、みなさまのためにお世話したい」との文面に目が止まりました。城陽市在住の女性(80歳)で現在は在宅酸素療法をされていますが、21年間の入退院を繰り返された闘病生活の間は、生きる意義も希望も見失い、閉じこもりの生活であったと。そんな折、患者の会に入会し、多くの方々とのふれあいをとおして周りの方々に感謝の気持ちを持てるようになった。また、会の役職に就き、人の役に立つことができるという喜びも知ることが出来た、と前向きに生きておられる様子が読み取れました。

戦中戦後の苦しい時代を乗り越え、高度経済成長期を必死で働かれてこの国を守ってこられた高齢者が、老いて病むことを憂い、恐れている現代。しかし、次の世代の人を信じ、勇気を出して明るく生きてほしいとの文面に、この方の生き

様と日本を牽引してこられた先輩方の生き方を重ね、目頭が熱くなる思いで読ませていただきました。

こうしてバトンを渡していただいている私たちこそ、真摯に現実と向き合い、将来に禍根を残さないようなまちづくりをしていかねばなりません。

城陽で生まれた子どもが、城陽で育ち、成人して所帯を持った時に、やっぱり城陽に住み続けたいと言えるように。また、転入された方が第二の故郷としてこのまちを愛せるように…。郷土愛や道徳心を育む教育や安心して子育てが出来るような仕組みづくり、市内産業の活性化や就労に繋がる支援、高齢者や障がいをお持ちの方が安心して暮らしたくけるように生活の様々な場面において、市民目線の施策を提言できるよう活動してまいります。

相原佳代子



成人式の集いにて

京都サンガ激励会
日本代表に初選出された久保裕也選手と

市民相談にて